

談話会通信

No. 27

東京クモ談話会

通信内容

春の観察採集会	1
きまぐれポスト マンガ特集	2
通信係からの連絡	8

生物が活動を始める春、クモの動きはどうでしょう。イエオ=グモ
ジヨロウグモ… い、たい、いつごろ姿をあらわすのでしょうか。各地方からの
クモだよりをおまちします。3月号は、マンガがあまりました。

新入会員の方・住所変更

会員の数とどんぐんふえつづり去年ついに100名を
越え、現在の会員は107名を数えるまじになりました。

●新入会員

河又和夫 〒275 千葉県習志野市泉町2-1-37
瑪玉寮

●住所変更

菅波洋平 〒318 茨城県高萩市高萩59-30

野沢孝二郎 〒440 愛知県豊橋市
関屋町10-7

吉村守 〒580 大阪府松原市松ヶ丘
2-1338-7

東亜蜘蛛学会 〒567 大阪府茨木市西宝殿
2-1-15
造手内学院大学生物学研究室



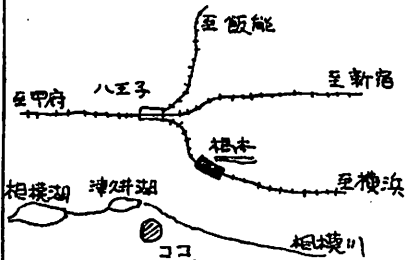
春の観察・採集会 5月13日(日)

日時: 5月13日(日) 10:00 A.M

集合場所: 国鉄横浜線 橋本駅前(ハエ子か537日)

観察採集場所: 津久井 城山

持ちもの 昼食 採集用具 筆記用具など



—連絡先—

高橋 登 044. 288. 2921

松浦 祐司 044. 422. 2842

動物日記

(243)

多摩動物公園・獣医学博士

増井光子



タランチュラ との出会い

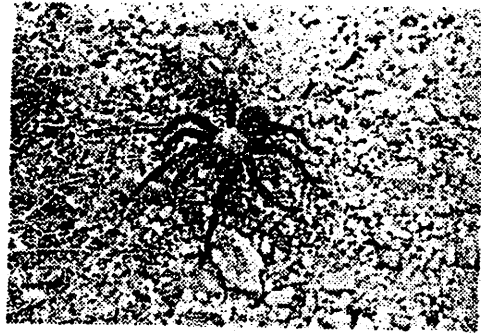
みなさんは、タランチュラというクモをご存知でしょうか。北アメリカ南西部の砂漠地帯にすむ大きなクモの1つ。大きいといえば、日本のアシダカグモも、足をいっばいに広げると10センチ近くありますが、タランチュラは、さらに大きく、アシダカグモが子供のように見えます。タランチュラは、がん丈なつくりのクモで、太い足にはクマの毛のような黒い剛毛がたくさん生えています。

一般に、クモ類の印象はあまりよくありません。8本の足がそれぞれと動くさまは不気味ですし、加えて、毒があるというウワサも、彼らの人気を落としています。

動物たちに、悪いイメージを与えるることについてはテレビや映画や雑誌といったマスコミも、大いに影響力をもっています。クモはそのために1段と悪者にされてしまった、というところも見逃せない事実です。私も、正直いってクモはあまり好きではありません。しかし、この夏アメリカ南西部を旅行して、かの有名なタランチュラを、ぜひ見たいものだと思いました。

こんな樫でつかまえられるところは、やはり用心されているんだな、とは思いましたが、それにしても、このクモの動作の緩慢さには、ちょっとびっくりしました。

これがタランチュラとの最初の出会いでしたが、タランチュラが、用心しないと危険なもの、と感じた私の考えは、あとで訂正しなくてはなりません。その後、何度もタランチュラに出会っているうちに、彼らが、いつも感傷せまらず、ゆったりと行動することがわかりました。



意外かわいいタランチュラ

砂漠の博物館の職員や国立公園のレンジャーたちが私に「きわってこらん」と、すすめるので、私もおっかなびっくりで手のひらに1匹のタランチュラをのせてみたのです。

日本のクモならこんなことをすると大あわてで、ガサガサと走り出すでしょう。でもタ

ランチュラは、ゆっくりと手のひらを歩き、少し動いては、ひと休みするのでした。私は、なんとなくその動作がかわいらしく思われました。

タランチュラのオスは、メスを求めて広範囲を歩き回りますが、寿命は短いものだそうです。しかし、それにくらべてメスはオスよりもひと回り大きな体格をしていて、草の根方や大地のくぼみに巣を作り、20年も生き続けるものもある、というのです。

アリゾナ州の巨大なサボテンが林立するソフロ国立記念公園を訪れたとき、そのレンジャーが「タランチュラが家の玄関にいた」といって、毒蛇をつかまえるための長い金棒の先に、タランチュラをひっかけてもってきてくれました。

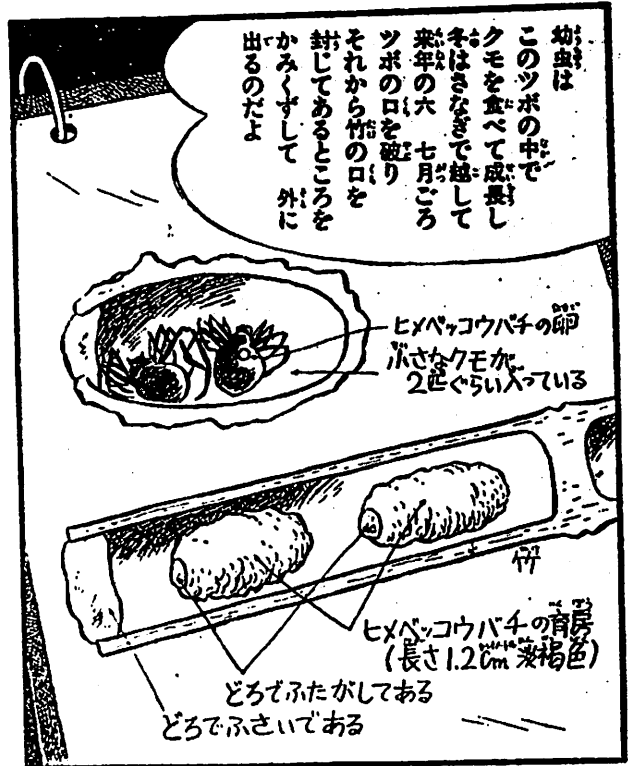
少年チャンピオンの連載
 “ロン先生の虫眼鏡”は
 とてもおもしろい身の回りの
 の生き物の話です。

りもも時々顔を出します。

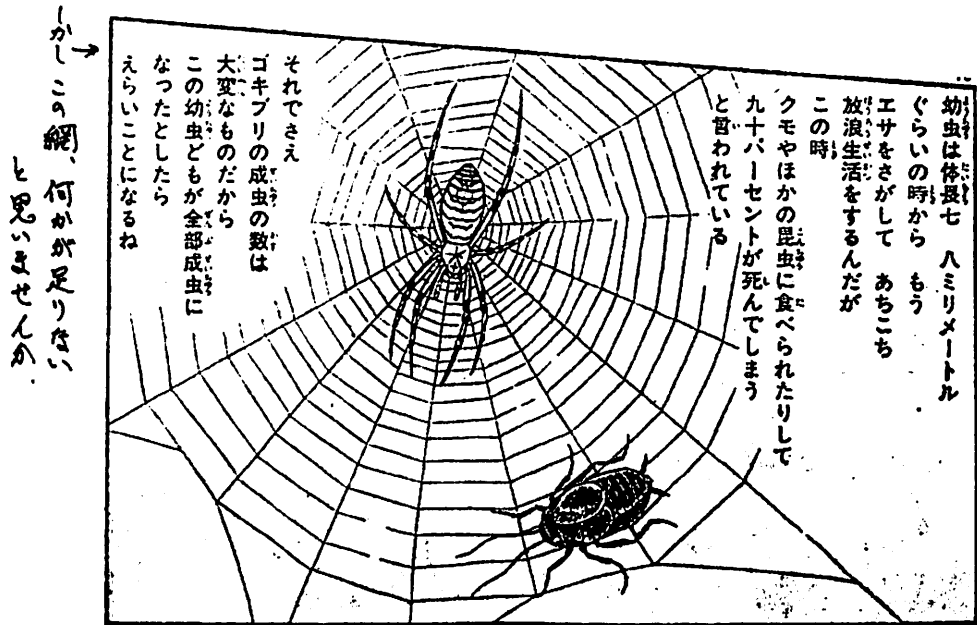
マンガのりもという
 おもしろい、と感じられるよ
 うに書いてあるので、本当に
 きれいな……。

通信はこのようなりもの
 記事(?)も集めています。

ぜひおよせください。



ロン先生の虫眼鏡 (184) 1978年 7月 9日 少年チャンピオン



少年チャンピオン 1978年 15号 ロン先生の虫眼鏡



1974年 12月 (33) マカロニ屋の日記

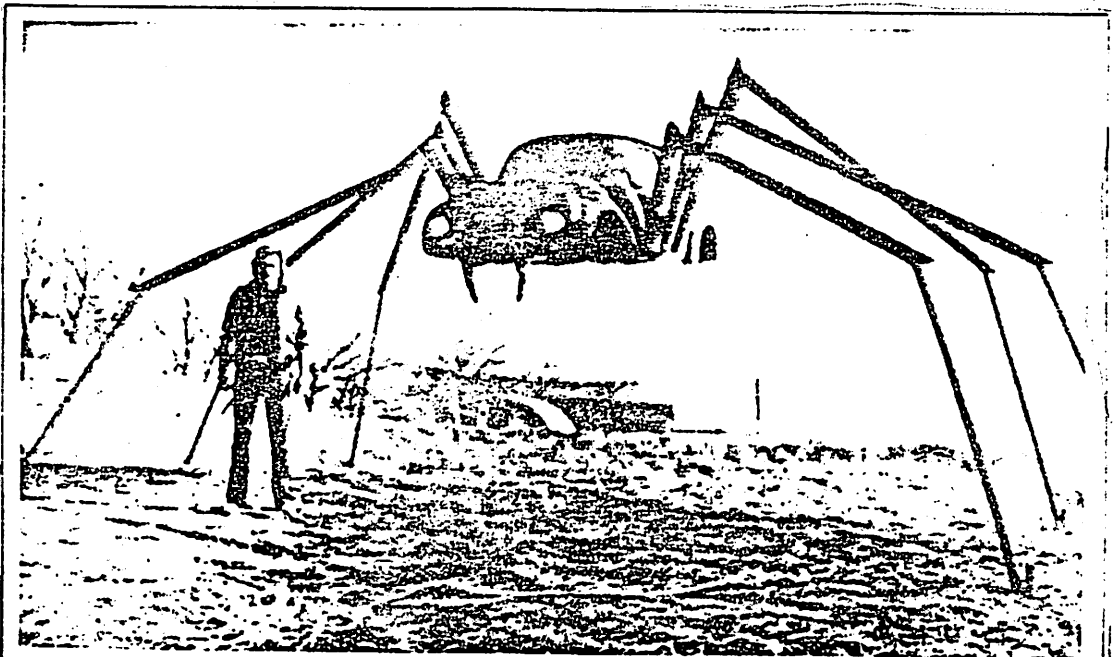
これもリモの記事!!
 とこもマンガチック
 リモなりなんでも載せて
 しょう 通信。
 マンガ、カット等、その身を
 送、2冊にまとめても、コピー
 でもよいのであ。大き過ぎ
 るものは縮小します。
 楽しい楽しいリモ産を
 送、て下さい。

↑
 これが水旺会?
 (S) (Y) (K)

小野尾綱弘より

Zeit Magazin Mai 1970

PICK UP



Spinnerte Idee

Neue Variante für das VW-Archiv: Der Käfer als „Spinne“, aus Bewässerungs-Röhren und einer Schrottkiste zusammengeschweißt von Dave

Farnborough aus Reno/Nevada. Das Aufsehen, das er erregte, hat den Künstler animiert: Nun sucht er für „Tausendfüßler“ alte Güterwagen.

26号のクモクイズの正解

- ① ア
ケボノ ユラシクモ
- ② マ
シラ クモのむかま
- ③ テン グヌカクモ
- ④ オニ カナボウ ケズネクモ
- ⑤ メナシヒ メクモ
- ⑥ テーニツツ ハイトリ
- ⑦ ト
ウキヨウ アカムネクモ
- ⑧ コミクモ
- ⑨ ザラ アカムネクモ
- ⑩ イエオニクモ
- ⑪ マネキ クモ
- ⑫ スズミクモ

⑩ イエオニクモのほか

- ・イノシシクモ
- ・イソヌカクモ
- ・イエタナクモ
- ・イソタナクモ
- ・イボカニクモ
- ・イソハイトリ があります。

いくつかありませんでしたか。
どこのクモにも珍らしいクモを
まぜてみました。あまり有名なクモは入
っていませんが!

▶ 松本さんより

白甲 錦 先生からのお手紙の
紹介です。

「私、この頃 韓国産の Dictyna 属
の整理に手をつけて居りますが
今迄こちらで報告されたことのない
ものが2~3種ある様です。

その内の一種は、今日完全に同定
が済みましたが、それは1937年に

Schenckelが中国南部からの
ものに命名記載した Dictyna
hedini です。将来調査が進む
につれて中国と共通種がと
ふえることと思ひます。

クモ談話会の皆様にも宣しく
お伝え下さい。」

1979年 2月26日 付

ページがちがいますが
KISHIDAIAと通信の
原稿が少なく、両編集局
ともたいへん困って
おります。皆様の KISHIDAIA
通信ですので、気付いた事
観察記録など何でも、
お気軽にお寄せ下さい。
談話会 両編集局より。

談話室



運営委員会報告

。1979年2月18日に運営委員会を開き、今年度のいろいろな活動計画について話し合い、以下のように決定いたしました。

今年度活動計画

I 採集・観察会

春	5月13日(日)
	丹沢 津久井 城山
夏	7月29日(日)
	丹沢 津久井 城山
秋	10月10日(水)
	丹沢 津久井 城山
冬	2月17日(日)
	丹沢 津久井 城山

同一場所で一年間通に行い、談話会として一つのリストを作成する。

(実行委員)

高橋 直

松浦 祐司

II 例会・総会

6月24日(日) 10:00 A.M.

目黒区立大橋区民会館

III 台同例会

12月16日(日)

目黒区立大橋区民会館

IV その他

54年度会費

一般：2,800円 中高生以下 2,000円

。以上のように決定いたしましたので、みなさま御多忙とは思いますが、採集会、例会などふるって御参加下さい。運営委員会より。



▶ 次号、5月号から原稿受付・発行が松浦祐司さんに変更します。

談話会通信が4月1日から、今までの田中理恵さんから松浦さんへバトンが、つきます。

こいからの原稿等は下記にお願いします。

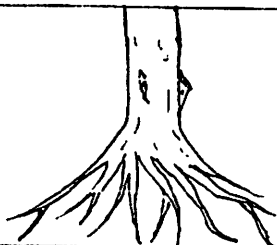
〒211 川崎市中原区坊宮612
松浦 祐司さんあて

▶ KISHIDAIA編集局も変、2
います。

26号でもお知らせしましたが、編集局が熊田さんの都合で休業しています。KISHIDAIAの原稿と問い合わせは事務局にお願いします。

事務局：〒185

国分寺市本町1-6-6
シンカイ写真館内。



▶ 会費について

本年度より会費が下記のように変わっておりますのでよろしくお願ひします。

会費

一般：2800円

中高生：2000円

振り込みの方 東京7-74885

事務局

東京都国分寺市本町1-6-6

シンカイ写真館内 新海栄一

編集後記

突然ですが田中さんの都合で通信発行が出来なくなり、私、松浦が引き継ぐことになりましたのでよろしくお願ひします。No.27は田中さんと私、ちゃんぽんで編集を行いました。

(松浦)

東京7モ談話会

—通信27号—

1978年3月25日発行

本誌

〒191 東京都日野市豊田1896

菅嶋 泉 〒TEL. 0425(81)7128

発行責任 田中 理恵

次号の発行責任(通信原稿受付)

〒211 神奈川県川崎市中原区坊宮612

松浦 祐司 TEL. 044(422)2842

会費 54年度 2800円

高校生以下 2000円